



令和5年度生活支援体制整備事業の計画



体制整備事業を、町直営で取り組み始め、4年目に入ります。引き続き、高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための地域づくりを目指し、

- ①協議体会議を通し、関係機関との連携構築
- ②住民主体による生活支援、移動支援の体制構築に向けての取り組み
- ③地域のニーズ調査、把握、分析、広報
- ④生活介護支援サポーターの育成
- ⑤高齢者見守りネットワークの拡大
- ⑥出前講座による情報提供、共有等に取り組んでいきたいと思えます。



このことについては、3月15日開催された協議体会議において、検討を行い、承認を頂きました。令和4年度より関係団体の代表様に加え住民代表として、八町北の野田滋博様にも委員として参加頂いております。江北町に今後必要な住民相互の支えあいについて、継続して検討を行い、取り組んでいく予定です！



協議体委員の皆さん

地域へ出向き、住民の皆さんと話し合いを行いながら、地域に必要な支援は何か検討していきます。



ご報告

へそサポ定例会拡大版

3月14日通常のへそサポ定例会の拡大版として町内で活動されている4団体の報告会とミニセミナーを開催しました。

- ◆へそのまちお助けサポーター：赤坂喜佐江
- ◆下分老人クラブサロン：百武絹子
- ◆女性ネットワークの会：岸川富差子
- ◆移動支援：樋高修（敬称略 順不同）

以上4名の方にご登壇頂き、それぞれの活動を報告して頂きました。昨年のシンポジウムに引き続きの方もおられ、より身近な活動として参加者の皆さんの参考になったかと思えます。

続いて、光岡真里氏（介護予防で日本を元気にする会）より「支え合いの地域づくりを考える」と題し、ご講演頂きました。「地域の中、地域と地域、人と人がつながるといことはどういうことか」「なぜ住民主体か」「10年後の自分や地域のために」と、今後活かせる内容でした。

